

弘済小中学校分校新聞

大阪市立弘済
小中学校 分校
広報・連携
プロジェクト
3学期号

新しいスタートに向かって

副校長 飯田浩二

厳しかった冬の寒さもようやく晴れを越え、阿武山学園の桜のつぼみも色づき始めました。日本人に古くから親しまれている桜。その桜が大輪の花を咲かせるためには春の暖かさだけではダメで、厳しい冬の寒さがあつてのことだと言われています。分校の子どもたちは、この一年間、次の新しいステージに向かって成長の花を咲かせるために頑張ってきました。

『わかる喜び』『学ぶ楽しさ』を実感させる

私は、子どもが自立するためには基礎的な学力が必要であると考えます。そのため、子どもたちの基礎・基本的学力を定着させたり、定着した学力を高めさせたりするために様々な取組をしてきました。「個別学習や習熟度別少人数授業」「定期的な補習授業」「RG（寮での自学自習ノート）」「朝学習」「土曜課題学習」「認知機能強化トレーニング（コグトレ）」「漢検対策講座」等、子ども一人ひとりが『わかる喜び』『学ぶ楽しさ』を実感しながら学習できるよう工夫を凝らした取組です。中でも「個別学習や習熟度別少人数授業」は、個に応じたきめ細やかな授業を展開するため、子どもの理解度に応じて随時編成し、特に国語・数学・英語においては年間を通じて3分割で実施しました。また「漢検対策講座」は全員受検を目指して今年度から取り組みました。漢字検定に合格することもさることながら、事前の勉強・受検・振り返りに重点を置き、子どもたちに成功体験を味わわせ、自己肯定感を育むのがねらいです。来年度が楽しみな取組の一つです。さらに「認知機能強化トレーニング（コグトレ）」では、他の学校からコグトレの内容や実施方法について講師依頼があるほど、コグトレに関して分校のステータスが高まっています。

分校は若手教員の多い学校です。授業づくり・学級経営・学園（保護者）との連携等、教育活動全般にかかる指導技術を若手教員が、豊かな経験と力量を持つベテラン教員から継承するとともに、自律的に学び、教師力を高める体制づくりに重点を置きました。その一つが「若手教員自主研修会」です。若手教員の教師力や人間力を磨くため、中堅・ベテラン教員や学園の職員を講師に招き、多岐にわたる内容を網羅した研修を行いました。多角的な知識を得ることで、視野の広い教師力を身につけることが目的です。ベテランの教員は自分の持つ貴重な経験を若手教員に伝授することでき、若手教員を孤立させず、教員が一丸となり、多岐にわたる内容を網羅した研修を行いました。そして、卒業式当日はみんな堂々と前を向き、晴れやかな表情を見せてくださいました。その姿は皆、卒業生に相応しい凛としたものでした。



弘済小中学校分校・阿武山学園の児童・生徒は、

卒業するとそれぞれの場所で生活をスタートさせます。これからが本当の意味で自立することになります。ここで経験し、学んだことを忘れずに、大きく成長してほしいと思います。

私が学び舎を卒立つ子どもたちに、幸多かれと祈っています。



★来年度1学期の主な行事予定★

- | | |
|--------------|--|
| 4月 | 6日：入学式、1学期始業式
観桜会 |
| 17日：学力学習状況調査 | |
| 5月 | 中旬：体力テスト、中間テスト
下旬：3年実力テスト
青葉ハイキング |
| 6月 | 下旬：3年チャレンジテスト
期末テスト |
| 7月 | 初旬：近畿野球大会
ボランティアの日
中旬：期末懇談
下旬：終業式、収穫祭、盆踊り |

卒業式

三月十五日（木）、あたたかい春の日差しのなか、第五十八回卒業式が行われました。今年度も保護者を含め多くの方にご参列いただき、小学生五名・中学生二十五名が小学校・中学校の卒業証書および阿武山学園の卒業証明書を授与されました。

一週間前から始まつた卒業式練習では、歌唱練習や証書の受け取り方、座る姿勢や礼の仕方など、細かいところまで一つひとつ確認してきました。

練習開始当初は恥ずかしさから声が小さかったり、証書の受け取り方がぎこちなつかつたりしていましたが、幾度となく練習を重ね、子どもたちは心を一つにしていました。そして、卒業式当日はみんな堂々と前を向き、晴れやかな表情を見せてくださいました。その姿は皆、卒業生に相応しい凛としたものでした。



卒業してからもこのお別れ会を思い出し、在校生や職員の応援メッセージを胸に頑張つてほしいと思います。



お別れ会

三月六日（火）に学級代表委員会が中心となり、三年生を送る「お別れ会」を行いました。

お別れ会では在校生や卒業生の代表が、学校・学園生活を通して互いに成長し合えたことや、お世話になつた先生方への感謝の気持ちを伝えました。これまで一緒に乗り越えてきたことを思い出して涙する姿も見られ、子どもたちの熱い気持ちが心に響きました。そして、年下の各学級から卒業生に向けて、お礼とお祝いを込めて工夫を凝らした発表がありました。

最後に一年間の様々な行事や、クラブ活動の様子を撮った写真から作つたビデオを観て、笑つたり涙したりしながら大変な一年間を振り返ることができました。

卒業するとそれぞれの場所で生活をスタートさせます。これからが本当の意味で自立することになります。ここで経験し、学んだことを忘れずに、大きく成長してほしいと思います。

卒業してからもこのお別れ会を思い出し、在校生や職員の応援メッセージを胸に頑張つてほしいと思います。

二十歳の自分へ

～卒業生 川柳～

3年1組 女子

・瞳とは うそをつかない 正直者

・ありがとう みんなに出会えて 幸せだ

・阿武山で 色んな人と 出会ったよ

・7人は 個性が強く おもしろい

・一年間 いろいろありがと 楽しかった

・バレー部で 得たもの全部 宝物

・少しずつ 成長したネ 国数英



- ・十五歳 必死に走る 寒い朝
- ・前年自分 絶対なうない どう決めた
- ・卒業後 なれない生活 頑張ろう
- ・いろいろな 出会いをくれて ありがとう
- ・忘れない 思い出一生 心の中
- ・卒業後 必死に走る 寒い朝



3年2組 男子

・三組は 楽しかったで 最後まで

・三年生 みんなとすぐせて よかったよ

・ありがとう 出会いがあれば 別れがある

・卒業式 思い出ばかり よみがえる

・頑張って 高校生活 続けます

・卒業後 高校生活 部活道

・高校で 部活と勉強 ひたむきに

・ありがとう おもしろかったね さよなら

・仲間との 絆深まる 一年間

～担任 川柳～

卒業する君たちへ

～担任 川柳～

- ・絶対に 明るい未来 作ろうよ
- ・ありがとう 野球部三年 マジ感謝
- ・支えあう 友との別れ かなしいな
- ・ありがとう 明るい未来が まっている

・初担任 優しい七人 ありがとう

一組担任 鹿川良子

・また明日 言えぬ寂しさ こみあげる

一組担任 野中俊輔

・卒業し これから勝負 背中おす

三組担任 山崎孝祐

